



「挑戦」・「誠意」・「創意工夫」を理念に、  
かごしまから技術革新を！

株式会社 東郷  
代表取締役 東 成生

「鹿児島で人生を送りたい」との想いで1984年に愛知県からUターンし、精密プレス金型専門メーカーとして1985年10月に創業しました。当時から金属ごとの加工方法や設備の使用方法など、工業技術センターの前身である機械金属技術指導センターには様々なご指導をいただき、開業当初の技術的なつまづきを最小限にすることができました。

1995年に建設した地下式工場では、年間を通して室温 $23\pm 0.5^{\circ}\text{C}$ の環境下で、寸法公差 $\pm 1\mu\text{m}$ 以下の超精密金型部品製作を実現しております。現在は、国内外のトップメーカーに対して主に自動車向けモーターコア、半導体パッケージ内部配線に使われる薄板金属、USB接続端子など先端分野の超精密金型や部品の製造を手掛けています。さらに、お客様の海外進出への対応と海外市場を取り込むため、2013年にタイに工場を建設し、今では本社工場と同等の金型製造ができるまで成長し、軌道に乗ってきました。

弊社の技術的な強みは、金型製作に必要な工作機械を全て保有し、金型設計から金型部品製作、組立、試作、量産、サービスまで内製一貫体制を確立していることです。全世界で見ても一貫して対応できる企業は非常に少ないため、世界各国から金型製作の依頼を受けております。



鍛造で製造した防水型USB接続端子

2018年には出水郡長島町の小学校跡地校舎を活用し、コネクタ生産を開始しました。従来の設備や金型サイズを60%以下に小型軽量化した、他社が真似できない超高精度小型金型を製作可能です。また、小型金型の実現により、省スペース小型一貫生産方式によるコネクタ製造ラインを確立しました。主な製品は、「USB Type-Cコネクタ」であり、次世代の電子部品、車載用コネクタ部品製造へと展開し、ラインナップを増やしていく予定です。

弊社と工業技術センターとの関わりとしては、戦略的基盤技術高度化支援事業(旧:サポイン事業、平成29年度～令和元年度)において、九州工業大学と三者で実施した「タブレット逐次鍛造法を用いた低価格な防水型USB Type-C コネクタと振り子ダイス式逐次鍛造成形機の開発」があります。この成果として、令和2年7月に弊社と工業技術センターとで「防水型USB接続端子の製造技術」の開発で特許(第6733896号)を取得しました。

今後も工業技術センターと共に培ってきた技術力を活かし、ものづくりDX化を進め、更なる顧客価値創造活動を行い、顧客の満足度向上、社会貢献へ繋げていきます。

かごしまからたゆまぬ技術革新を！



6月に完成した本社第五工場